

2021年11月発行

茨木御堂 第280号



真宗大谷派



茨木別院

(輪番 高木 文善)

〒567-0817 茨木市別院町3-31
TEL (072) 622-2903
FAX (072) 625-9445

私が茨木別院の輪番に就任いたしましたのが、二〇一八年の九月一日でありました。その年十一月の報恩講が私の輪番としての最初の報恩講でした。その報恩講の法話講師に前宗務総長の里雄康意氏にお越しいただきました。その思い出をたどりつつ、里雄氏が二〇一九年十一月の法語カレンダーの解説をされています。とても平易な文章で分かりやすく解説しておられますので、今月はその文章を掲載させていただきます。

真の知識にあうことは かたきがなかに なおかたし

今から四十七年前大学を卒業し、周りの人々の勧めによって、真宗本廟奉仕の方々と僧伽さんがの生活を共にする、同朋会館しよくたくほどうの嘱託補導どうという仕事をさせていただきました。

寺に生まれながらも仏法に遇あうこともないまま、寺院生活に対し疎うとましさだけをもち、僧侶である自分を意識的に遠ざけていた時です。そんな私の有り様さまをずっと見守り続けてくださった方々が、

仏縁を結ばせようと嘱託補導に押し出してくださったのであります。

全国から真宗本廟奉仕に上山された方々と語らいの時間を持たせていただき、自分の浅い人生経験と知識を頼みにして話し合う場をつくっていましたが、場が重なるにもなつて話を深めることもできず行き詰まりづ、どうすることもできなくなることもありました。自分の無能力さ、知識の浅さに劣等感、失望を感じずる日々を過ごすことになっていったのです。それを逆恨みさかつらし、こんな難しい場所に送り込んだと恨みうら、妬ねたましくさえ思うこ

茨木別院関連ホームページ

茨木別院 ➔ ibarakibetsuin.or.jp

いばらき大谷学園 ➔ ibarakibetsuin.or.jp/kids/

真宗教団連合ホームページ

<http://www.shin.gr.jp/>

真宗教団連合

検索

ともありました。

そして、自分が頼みとしている自分の能力や知恵では間に合わないのに、それらさえ磨き鍛え上げればなんとかなるのだと思い込み、苦しい日々を過ごすこととなったのです。それと同時に、教導の先生のご法話も耳に入らず、奉仕団の皆さんの声も聞こえなくなっていました。

まさしくそれは、自分の自負心を頼みとする独りよがりの世界が生み出したものでしょう。ですが、それを思い知ることは、「難きがなかになお難し」です。

しかし、教導の先生のご法話にあい、奉仕団の方々の生活から生まれる言葉に出遇っていくことにより、聞法が深められ、この行き詰まりは自分の経験、能力、知恵を頼みとしている有り様がなさしめていたのであると思い知らされました。

自らの独善的な自負心から生ずる疑情が、人々が親鸞聖人の世界を求め生きることによって培われた深い生き方を見えなくさせていました。私たちは、独善的な自負心にとらわれ、廣大無辺の仏智に気づく

こともなく過ごすことによって、人として生きることの豊かさを失っていくのです。そのことに気づくのに聞法の時を経るのです。

聞法求道に生きる人々との出遇いによって、この私は自分の能力、知恵、経験を頼んでいたと気づかされた時、かたじけなさを感じずにはおれません。

仏智の中にありながら、自分の我情を絶対化し、それにしがみついていることに気づけない者が、仏法を求めて生きている人に出遇った時、見えていなかった世界が見え、聞こえていなかった声が聞こえるのです。

私の独善的な自負心が、本願の歴史、本願の世界を物語ってくださいているよき人に出会いながら、聞く耳を持たず、よき人をよき人と見出すことなく、広くて豊かな世界を自ら狭めているのです。それを思い知らしめてくださるのが、如来教法を伝えてくださる真の知識なのです。

南無阿弥陀仏(文責 輪番)

茨木別院 行事ご案内

11月

●おみがきのご奉仕

日時 4日(木) 午前10時より
会場 別院本堂

●教如上人ご命日・同朋会(どうぼうかい)

日時 5日(金) 午後1時半より
会場 別院会館
講師 加藤 恵氏

●報恩講

日時 14日(日)
15日(月) 詳細は5頁ご案内
16日(火)

●親鸞聖人ご命日・婦人会例会

日時 28日(日) 午後1時半より
会場 別院会館
講師 茨木別院輪番

12月

●教如上人ご命日・同朋会(どうぼうかい)

日時 5日(日) 午後1時半より
会場 別院会館
講師 加藤 恵氏

●除夜の鐘・修正会

日時 31日(金) 午後11時半頃より
引き続き午前0時半より
本堂にて「修正会」の
お勤め

12月の
婦人会例会は
お休みです



令和
4年

令和
3年

11月13日(土)～16日(火)の月忌参りは
報恩講準備等の為、お休みさせていただきます。

おみがきの
ご奉仕のご案内

日時 十一月四日(木) 午前10時より
会場 茨木別院本堂

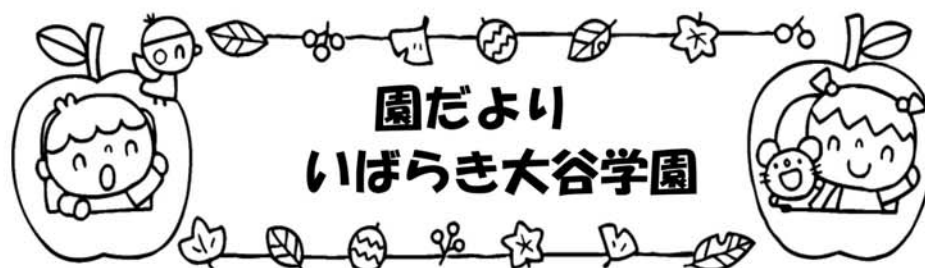
十一月に茨木別院の報恩講の法要が勤まります。法要にあたり、仏具の「おみがき」を行います。仏具をみなさんと綺麗に磨き上げて報恩講をお迎えしたいと思います。たくさんの方のご参加お待ちしております。



除夜の鐘・修正会

日時 十二月三十一日(金)
・二〇二二年 一月一日(土)

十二月三十一日に除夜の鐘撞きを開催します。午後十一時半頃より鐘を撞き始める予定です。
除夜の鐘に続いて「修正会」のお勤めも行います、みなさんご一緒にお勤めして新年を迎えましょう。



2学期が始まって早々、市からの家庭保育の協力要請にご協力いただき、ありがとうございました。

10月から通常保育に戻り、運動会の練習と作品展の制作活動が同時進行で進んだので、子どもたちも忙しい毎日でしたが、毎日元気に登園してくれました！

いよいよ11月、音楽会に向けての練習が始まります。

今年度も別院本堂での開催になり、ご不便をおかけするかもしれませんが、発表を楽しみにしててくださいね。



行事予定

- 11月 11日(木) 年長組 みかん狩り(お弁当日)
 12日(金) みかん狩り予備日(給食日)
 16日(火) 年長組 報恩講参拝
 19日(金) 動物村
 25日(木) 内科検診(乳児組、年中組)
 26日(金) 内科検診(年少組、年長組)

- 12月 7日(火) 音楽会予行
 16日(木) 音楽会
 17日(金) 終業式
 29日(水)(1月3日まで) 年末年始休園

お知らせ

園庭開放を再開いたします！

日程はHP等でお知らせいたしますので、遊びに来てくださいね！





2021年度

茨木別院 報恩講 ご案内



11月14日[日] → 16日[火]

日	時 間	報恩講日程	備 考
14日 (日)	13:30 15:00頃	逮夜のお勤め 法 話 御伝鈔拝読	
15日 (月)	7:30 10:30	晨朝のお勤め 日中のお勤め 法 話	*おぜんざいの接待は 中止いたします。
	13:30	結願逮夜のお勤め 御俗姓拝読 法 話	御参向：藤原 忍 師 各別院輪番拝礼
16日 (火)	7:30	結願晨朝のお勤め	園児合同礼拝
	10:30	結願日中のお勤め 法 話	御参向：藤原 忍 師



講 師

秦 信 映 氏 (長浜教区24組 明徳寺前住職)

講 題

感染症から知らされる人間の問題

— 親鸞聖人の教えをとおして —

- 14日/逮夜・15日/日中、結願逮夜・16日/結願日中の計4座ご法話いただきます。
- 例年15日に行っているおぜんざいの接待は中止いたします。
- お参りの際には新型コロナウイルス感染予防のため、検温、消毒、マスクの着用等ご協力よろしくお願い致します。

親鸞聖人御命日

・婦人会

長らく休会しておりました婦人会について十一月二十八日午後一時三十分の開催より再開を予定しております。

開催につきましてマスク・消毒等感染症対策のご協力よろしくお願い致します。

教如上人御命日

・同朋会

新型コロナウイルス感染症の影響により暫くお休みさせていただいていた同朋会について十一月五日午後一時三十分より再開を予定しております。

みなさん安心してご参加いただきますよう、感染症予防対策のご協力よろしくお願い致します。

永代経志納御披露

・先祖代々

・法名 平観院釋法力

・法名 広浄院釋歡忠

願人 熊田年子

右の通りご志納頂きましたことを御披露いたします。

敬 弔

ご生前のご遺徳を偲び、謹んで哀悼の意を表します。(敬称略)

記

●法名 徳海院釋是正

俗名 西脇正治

九十五歳

●法名 慈光院釋尼妙眞

俗名 赤澤眞由美

六十四歳

●法名 釋勝徳

俗名 川口勝己

六十九歳

編集後記

緊急事態宣言が解除され、何とか報恩講をお迎えできそうです。制限されることもまだまだ多いですが、昨年よりは例年に近い形で勤められそうです。

岡崎 康祐

規制緩和がされた途端、施設や店舗前に行列を見受けられるようになりました。どこまで緩めて良いのか、今まで以上に個々の判断が求められているように感じます。

墨林 尚顕

緊急事態宣言も解除されいよいよ同朋会・婦人会が再開されます。コロナ前の時のように、にぎやかに開催とはいかないですが少しずつ活気が戻ってくればと思います。

竹内 明人

株式会社 花 廣

茨木市大手町 二二一八

☎(〇七二)六二二二四〇二

— 生花・供花・けいこ花 —